

第59回ウォーキングの会 ご報告

10月8日天女伝説の伝わる弁天島、そして橋でつながる島々を訪ね、浜名湖の美しい景観を楽しみ、その後、東海道30番目の宿場として栄えた舞阪、往時をしのばせる史跡をたずねました。



弁天島海浜公園にて

東海道線弁天島駅を10時30分に出発し、まず渚園にあり親子づれでにぎわう「みてさわって楽しむ小さな水族館 ウォット」を訪問。その後、さわやかなそよ風を受け、浜名湖の景色を眺めながら湖畔の道路をすすみ弁天島海浜公園に到着。



浜名湖体験学習施設「ウォット」



そよ風を受けて橋を渡る

ここで弁天島のシンボル、海に浮かぶ赤い大鳥居を眺めながら昼食をとりました。日曜日とあって大勢の人たちが釣りを楽しんでいます。昼食後、集合写真を撮り、国道1号線沿いにひっそりとたたずむ弁天神社を訪ねました。



日陰で昼食



弁天神社で天女伝説の説明を読む

弁天橋を渡り、今度は舞阪宿訪問です。江戸時代の渡船場「北雁木」、「舞阪脇本陣」を見学し、往時をしのびました。次に、舞浜漁港の脇を通り、「町民の森」と呼ばれる松林の土手道を進み、舞阪灯台のある辺りでは、遠州灘の眺めも楽しむことができました。その後、旧東海道の松並木を歩いてゴールの舞坂駅に午後2時25分に全員元気に到着しました。



北雁木（江戸時代の渡船場跡）



快適な「町民の森」ウォーク



展望台から遠州灘を眺める



松並木の旧東海道を歩き舞阪駅へ

この日は日差しが強く、参加者から「暑い、暑い」という声は聞かれましたが、松の木陰や、さわやかな涼風のおかげで、充実したウォーキングを楽しむことができました。

次回は第60回「高浜鬼みち散策と吉浜人形小路めぐり」（11月12日実施）です。多数ご参加下さい。